

令和8年7月10日  
志免町教育委員会

事業者 各位

### 学習支援ソフトウェアに関する情報提供依頼

#### 1. 目的

志免町では、児童生徒の「個別最適な学び」の更なる質的向上と、教員の指導・評価にかかる負担軽減を両立させる次世代型の学習支援ソフトウェアの調達を予定しています。本情報提供依頼は、今夏予定している一般競争入札に向けた仕様書の作成や予定価格を決定する際の参考にすべく、各事業者が提供可能なソフトウェアの最新情報を事前に収集するものです。

#### 2. 対象ソフトウェア

「別紙 必須要件」を満たす以下のソフトウェアとする。

- AIドリル  
主要5教科に対応かつ本町採択教科書に準拠し、児童生徒の習熟度に応じた個別最適な学習を支援し、日々の授業や家庭学習において主体的な学びを促すもの。
- AI英会話  
AIとの実践的な対話を通じて、児童生徒が意欲的に英語4技能（特に話すこと・聞くこと）をバランスよく学べるもの。

#### 3. 前提条件

##### (1) 児童生徒および教職員数

学校名	住 所	児童生徒数	教職員数
志免中央小学校	志免町志免中央1丁目8番1号	934人	78人
志免東小学校	志免町志免東1丁目1番1号	495人	49人
志免西小学校	志免町別府2丁目4番1号	995人	79人
志免南小学校	志免町大字吉原556	389人	41人
志免中学校	志免町片峰4丁目3番1号	945人	74人
志免東中学校	志免町志免東4丁目4番1号	437人	53人
計		4,195人	374人

※令和8年5月1日時点。

##### (2) 児童生徒用端末数

- iPad (A16) 4,976台 ※キーボードケースおよびアクティブペン付属

(3) 期間（予定）  
令和8年10月1日から令和13年9月30日まで（5年間）

(4) 契約方法  
地方自治法第234条の3の規定による長期継続契約（リース）

#### 4. 情報提供依頼内容

以下を網羅していれば様式は問いません。また、「2. 対象ソフトウェア」のうち、どちらか一方の情報提供でも構いません。

- ソフトウェアの概要及び自治体導入実績
- 「別紙 必須要件」の対応状況
- 導入サポート体制
- その他特筆すべき点
- 参考見積

#### 5. 情報提供方法

「8 問い合わせ先」まで電子メールにてご提出ください。

#### 6. 情報提供希望期限

令和8年7月27日（月）

#### 7. その他注意事項

- (1) 情報提供にかかる費用はすべて情報提供者の負担とします。
- (2) 将来的な製品選考を約束するものではありませんので予めご了承ください。
- (3) 提供いただいた情報に含まれる著作物の著作権は、情報提供者に帰属します。
- (4) 提供いただいた情報を本情報提供依頼の目的以外に情報提供者に無断で使用したり、第三者へ漏えいさせることはありません。
- (5) 提供いただいた情報について、後日個別にヒアリングを実施させていただくことがあります。
- (6) 質問は、問い合わせ先まで電子メールにてお問合せください。

#### 8. 問い合わせ先

志免町役場 学校教育課 担当：竹森

〒811-2292 福岡県糟屋郡志免町志免中央一丁目1番1号

TEL 092-935-1207 FAX 092-935-2951

Email: [gakkok@town.shime.fukuoka.jp](mailto:gakkok@town.shime.fukuoka.jp)

## 【学習支援ソフトウェア 必須要件】

## (1) 名簿・データ連携

OneRoster 等の国際標準規格に対応し、統合型校務支援システムおよび学習 e ポータル等との間で、CSV 等の手動介入なしに直接名簿データおよび教育データを同期・連携できる機能を備えていること。

## (2) シングルサインオン (SSO)

LTI (Learning Tools Interoperability) 規格、または外部認証基盤 (Google Workspace / Microsoft 365) を介し、独自の ID・パスワード入力を要求せずワンクリックでログインできる機能を備えていること。

## (3) Web ブラウザ対応

OS ごとの専用アプリケーションのインストールやアップデート作業を必要とせず、端末に標準搭載された Web ブラウザ上のみで全機能が軽快かつ安定して動作する仕様を備えていること。

## (4) 学習履歴引き継ぎ

児童生徒の転校時および小学校から中学校への進学時において、管理者がデータを再登録することなく、過去の学習履歴をシームレスに引き継ぎ、新しい指導者の画面に表示できる仕組みを備えていること。

## (5) アダプティブ応答

児童生徒個人の過去の正誤履歴や発話の言語レベルを AI が判定し、次に提示する問題の難易度や出題順、および英会話におけるチャットボットの応答内容をリアルタイムで自動可変化する機能を備えていること。

## (6) 手書き自動判定

画面上への手書き入力において、単に最終的な文字の成否を判定するだけでなく、文字の書き順 (筆順) および結び・はね等の形状が正しいかを検知・識別し、正誤を自動判定する文字認識機能を備えていること。

## (7) ダッシュボード

児童生徒個人が自身の進捗や目標を確認できる画面と、教員が各学級・学年全体のリアルタイムの正答率、進捗速度、および共通する誤答問題の統計を自動集計して一画面に表示する機能を備えていること。

## (8) CBT・不正検知・即時フィードバック

成績評価の客観的な根拠として耐えうる、質の高い CBT (Computer Based Testing) 機能、テスト実施時に画面離脱や別タブ・別ブラウザの起動等を検知して作動を制限する不正防止機能、および試験終了と同時に自動採点を行い、個人の課題や学級全体の誤答率の高い設問データを即座に出力する機能を備えていること。

## (9) 採点支援

AI による自動採点機能に加え、教員が採点を行う記述式問題において、特定の設問に対する学級全員の解答のみを一覧画面に並べて表示し、連続して効率的に丸付け・部分点入力を行える画面を備えていること。

## (10) 画面設計・操作性

児童生徒が説明書なしで直観的に操作でき、主体的に楽しく学習を継続できる視覚的・心理的な画面設計、ならびに色覚特性や音声読み上げへの配慮など、JIS 規格等に準拠した高度なウェブアクセシビリティおよびユニバーサルデザインを備えていること。